

巻頭インタビュー

30 Years Of Friendship (30年の友情)

2015「東北大学国際祭り」テーマ



シン アンガッディーブ さん

インド出身

東北大学留学生協会(TUFSA)代表

東北大学留学生協会(TUFSA)は5月24日、30回目の国際祭りを開催しました。今回の倶楽部MIAでは、TUFSA代表のシン アンガッディーブさんに、インタビューしました。

——国際祭り、お疲れ様でした。いろいろお伺いしたいのですが、最初に出身地やご家族について教えてください。

南部のカルナータカ州の州都バンガロール生まれです。インド人は一般的に転職を繰り返すので、私の父も自動車、クレーン関連など様々な会社で働きました。父の転職の度に家族で引っ越すので、首都デリーを含む国内の複数の都市で暮らしましたが、バンガロールは通算8年で一番長いですね。高原にあり、気候が穏やかで暮らしやすい都市です。家族は、両親、4歳上の兄、私の4人。ただ、現在、父がタイでトヨタ自動車の仕事をしているため、両親はタイ在住、兄はイギリスで米国系の企業に勤め、私は仙台。全員、インド国外です。

——インドは、言語、宗教などが多様なことで知られていますが…

連邦公用語はヒンディー語で、他に憲法で公認されている州の言語が21あります。英語も広く使用されています。私は基本的に全て英語で学校教育を受けましたが、家族とは、英語、ヒンディー語、パンジャブ語の3つを使って話します。どれも同じレベルで話せますし、使う割合も同じくらい。宗教的には、国全体で約2%しかいないシク教徒です。シク教に関して有名なのは、「髪を切ってはいけない」ということで、「髪は神から贈られたもの」という考えに基づきます。私も生まれてから1度も髪を切ったことはなく、ターバンの中にまとめています。

——なぜ東北大学に留学されたのですか？

まず、留学先に日本を選んだ理由は2つ。1つは、自国と全く違う新しい文化、言語を学びたかったから、もう1つは、小さい国なのに世界有数の経済大国になった日本に興味があったからです。規律正しく、チームワークに優れた国民性や寿司など和食のおいしさにも、良い印象がありました。東北大学を選んだ理由は、学部レベルでの留学生受け入れに積極的だったからです。インドで試験を受けて合格し、「東北大学外国人留学生総長特別奨学生」として、2011年9月に仙台に来ました。18歳の時です。

——大学では何を学んでいらっしゃいますか？

私は地球の天然資源はいずれなくなり、人類はいつか宇宙に進出すると考えています。そこで、大学では宇宙関連の勉強をしたいと思い、今は大学院で航空宇宙工学を学んでいます。詳しく言うと、火星の大気環境を模したトンネル型の装置を用いて、新たな火星探査の手法として注



実行委員とボランティアが写っている、今年の国際祭りの写真。
最上段中央に、アンガッディーブさん。

目されている火星飛行機の製作や飛行に必要な技術について研究しています。

——TUFSAには、いつ入られましたか？

2012年6月に入り、英語を使った日本人との交流やフィリピンを襲った台風の被災者支援など、様々な活動に積極的に参加してきました。ただ、TUFSA主催の最も大きなイベントである国際祭りに関しては、入った年の10月に初めて実行委員として参加したものの、直前の8、9月にインドに帰国していたため、片付けを手伝った程度。各国の味を楽しめる屋台、様々な団体が外国の文化や遊びを紹介する「交流コーナー」などを見て、「こんなにいいイベントなら、もっと関わりたいかった」と残念に思いました。だから、今年の国際祭りで、実行委員長として精力的に活動できたことは、個人的にはとても嬉しかったですね。

——今年の国際祭りは、いかがでしたか？会場が三条中から東北大学川内キャンパスに移りましたが…

全体としては、お天気にも恵まれ、国籍や年代に関係なく、来場者皆が楽しめたと思います。昨年と比較すると、屋台の数は18から24に、交流コーナーも10から16に増えました。来場者も昨年の3,000人より多かったと私はみっていますが、会場となった川内萩ホール前には広いスペースがあり、人の多さを感じませんでした。下が地面から芝生になって、来場者が自由に芝生に座って休憩したり、食事したりできるのも良かったですね。

——30回目の節目となった国際祭りを終え、今後についてはどうお考えですか？

私自身、長期休みの後に仙台に戻ると、懐かしさを覚えるほどで、仙台・宮城は第二の故郷となりました。私に限らず、留学生は宮城で勉強以外のことを含めて多くを学び、特別な場所となります。今年のテーマには、そんな私達が地域の方々に支えられ、長年、国際祭りを開催してこられたことへの感謝が込められています。今後は地元の団体や企業との連携を深めて新しい出会いの場をつくり、活動の幅を広げるのが大事だと思います。それは同時に、留学生の持つ力をお世話になっている地域に還元することにもなります。そのためには、例えば、私が母国の文化やTUFSAの事業について学外で紹介するようなご依頼も喜んで引き受けます。

——楽しいお話、ありがとうございました。今後のご活躍をお祈りしています。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2015年8月～9月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2015	8	S	M	T	W	T	F	S	9	S	M	T	W	T	F	S
	1							1								
	2	3	4	5	6	7	8		6	7	8	9	10	11	12	
	9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19	
	16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26	
	23	24	25	26	27	28	29		27	28	29	30				

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

8月 AUGUST

8～9月 金曜日を除く毎日

夜のジョギング交流会

仙台地区中国学友会

広瀬川(仙台市青葉区角五郎1-1-14)

21:30～22:30

不要。21:30集合。直接、会場にお越し下さい。

無料

090-6680-0302

xiantaixueyouhui@gmail.com

https://www.facebook.com/xiantaixueyouhui

8～9月 不定期(月1、2回程度)

東北大学中国語コーナー

仙台地区中国学友会

未定

無料

※夜のジョギング交流会と同じ

8～9月 毎週日曜日

円通院ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

円通院

10:00～15:00

現地へ直接

入場料300円は自己負担

FAX 022-354-3678(大浦)

hoshido_mutsuo@ybb.ne.jp

http://www.geocities.jp/matsushimagw/

8月2・7・8・9・15・16・23・30日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

瑞巖寺

10:00～15:00

入場料700円は自己負担

※円通院と同じ

7日

お盆休みに台湾へ行く前に知っておきたい!

台湾セミナー

仙台湾学友会

仙台市市民活動サポートセンター 3階

研修室2

19:30～21:30 (19:15開場)

http://kokucheese.com/event/index/311955/

500円

sendai.taiwan.houyuukai@gmail.com

http://sendai-taiwan.jimdo.com/

9日

多文化家族のための子どもの学校生活について学ぶ会2015登米

日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会

共催:宮城県国際化協会など

登米市迫公民館

13:30～15:30(13:00受付開始)

下記の登米市教育委員会学校教育課にFAX・メール ※メールの場合、件名に「学校生活について学ぶ会」と入れて下さい。

無料

0220-34-2504

gakkoukyoiku@city.tome.miyagi.jp

11日

自分だけのオリジナルご朱印帖を作ってみよう～仙台三十三観音専用御朱印帖装丁作製教室

NPO法人楽遊ネットワーク宮城

NPO法人楽遊ネットワーク宮城事務局

※人数によっては、会場変更の可能性あり

10:00～12:00頃

電話・FAX・メール ※材料準備等のため早めにお申し込み下さい。

一般3,000円 楽遊ネット会員2,700円

※和紙・印刷済本文など全材料費込

022-261-9869

022-261-0546

eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html

19日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場

13:00～16:00

電話受付または予約なしでもOK

無料

022-261-6768

022-261-0610

9月 SEPTEMBER

9月6・13・20・21・22・23・27日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

※8月瑞巖寺と同じ

2～6日

地球環境を守る「植林事業視察訪中」派遣(吉林省長春市農安生態保護林建設事業)

宮城県日中友好協会

吉林省長春市農安

宮城県日中友好協会

135,000円(空港使用料:1,800円、燃油サーチャージ料:5,000円)1人部屋追加代金:20,000円

FAX 022-274-3811

jcf-miyagi@rose.plala.or.jp

www.16.plala.or.jp/miyagikenn/

5日

外国人のためのVISA・生活無料相談会

ビザ&ライフサポートインみやぎ

大崎タイムス社

11:00～14:00

電話。当日直接も可能。

無料

090-7937-6716

FAX 022-358-1250

16日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

※8月19日と同じ

17日

ナイジェリアにおけるイスラーム過激派「ボコ・ハラム」

アフリカ・セミナーの会

仙台国際センター 研修室

10:00～12:00

不要

700円

FAX 022-362-7907

19日

地域イノベーションプロデューサー塾 特別講座「中小企業の海外進出」

(講師:JICA東北 高橋 宏彰)

東北大学大学院経済学研究科

地域イノベーション研究センター

東北大学片平キャンパス

※詳細についてはお問い合わせ下さい。

10:00～12:30

要 ※詳しくはHPをご覧ください。

無料

022-217-6265

022-217-6266

rips@econ.tohoku.ac.jp

https://rips.econ.tohoku.ac.jp/education/rips/

20日

世界の家料理教室(ナパール・タルカリ)

石巻中央公民館・国際サークル友好21

石巻中央公民館 1階 調理室

10:00～13:00

9月16日までに、石巻中央公民館へ

500円(当日持参)

FAX 0225-22-2970

27日

JICAボランティア平成27年度秋募集「体験談&説明会」

JICA東北

仙台市情報・産業プラザネットU

セミナールーム2(A)(B)

17:00～19:30(予定) ※詳細は9月上旬に

JICAホームページにて掲載します

不要

無料

022-223-4772

022-227-3090

jicathic-jv@jica.go.jp

http://www.jica.go.jp/volunteer/semi

nar/index.html



平成27年度 みやぎのふるさとふれあい事業のお知らせ ～みやぎのふるさとを体験してみませんか?～

宮城県国際化協会では、毎年秋に県内の市町村国際交流協会と共催で“みやぎのふるさとふれあい”事業を実施しています。この事業は、県内で暮らす外国人住民の方なら誰でも申し込むことができ、地域の伝統的なお祭りや行事に地元の方々と一緒に参加したり、ホームステイやホームビジットを体験したりすることができます。県内に暮らしていても、日本人と交流したり、日本文化を体験したりする機会

会が少ない外国人住民の皆さん、この事業で“みやぎのふるさと”を体験してみませんか。

今年は3つの町で、以下の日程で行う予定です。お問い合わせは、直接、実施市町村までお願いします。

※募集人数の制限、締切日がありますので、早めにお問い合わせ下さい。

実施市町村	実施日	内 容	問い合わせ先
美里町 美里町国際交流協会	10/3～4	日本文化体験、オータムフェスタ、ホームステイなど	まちづくり推進課 ☎0229-33-2180
利府町 利府町国際交流協会	10/10～11	梨狩り、新幹線車両基地見学、ひとめぼれスタジアム宮城見学、ホームステイなど	政策課 地域協働班 ☎022-767-2113
村田町 村田町国際交流協会	10/11	布袋祭りの山車曳き、町内施設見学など	企画財政課 ☎0224-83-2112



第10回 社の都のビール祭り仙台オクトーバーフェスト2015

「仙台オクトーバーフェスト」は、ドイツ・ミュンヘンで開催されるビール祭り“オクトーバーフェスト”にならって開催されるビールの祭典。ドイツのビールや料理に加え、東北の地ビールと地元の食材メニューがいっぱい。さらに、毎年ドイツから陽気な楽団が来仙し、楽しいステージ演奏で会場を盛り上げます。

主催：仙台オクトーバーフェストプロジェクト

後援：宮城県、仙台市、ドイツ大使館、仙台日独協会、バイエルン州駐日代表部、ドイツ観光局、(公財)宮城県国際化協会 他

日時：9月19日(土)～27日(日)、11:00～21:00(24・25日は16:00～)

場所：錦町公園(仙台市青葉区本町)

参加費：入場料はいりませんが、売店の商品は有料となります。



耳より情報!

グループで来場しても、安心して席が確保できる「栈敷席」を用意。詳しくは、公式サイトで。

ホームページ <http://www.sendai-oktoberfest.jp>
問合せ先：022-714-8324(平日10:00～18:00)



※JICA＝独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力をを行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

JICA宮城デスクからのお知らせ

宮城県の8名 JICAボランティアとしてアジア、アフリカ、南米へ出発!

6月下旬～7月上旬に宮城県から8名のJICAボランティア(青年海外協力隊7名、シニアボランティア1名)がそれぞれの任地へ出発しました。

出発に先駆け、宮城県庁と、それぞれの出身またはゆかりの地の市町村へご挨拶に伺いました。若生正博副知事からは「JICAボランティアは世界からも高い評価をいただいている事業。言葉や文化、価値観を互いに尊重し合い、心身共に健康に、思う存分自分を磨きながら、活動を全うしてきてほしい。」と激励の言葉をいただきました。

～今回出発した8名の皆さんの抱負～

■田山美由紀さん(モンゴル/看護師)：「自分の知識や経験を少しでも多く伝え、貢献できるように頑張りたい。」 ■相澤梨乃さん(フィジー/小学校教育)：「情操教育の楽しさを児童達とともに経験していきたい。」 ■中鉢典子さん(マレーシア/青少年活動)：「自分ができるところに精一杯チャレンジして、世界の人々を笑顔にしたい。」 ■大友頌司さん(ボツワナ/コンピュータ技術)：「帰国後も、同僚職員が自立的に考え、IT環境を保守・運用してもらえるように貢献したい。」 ■佐野あす実さん(セネガル/日本語教育)：「日本語教育を通し、日本とセネガルの架け橋となるような活動をしたい。」 ■安部彩菜さん(ガボン/感染

症・エイズ対策)：「地域住民とコミュニケーションを図り、互いに協力しながら、任地のニーズに合った支援を行いたい。」 ■佐藤真理さん(ガボン/PCインストラクター)：「ITを通して子どもたちが知識を習得し、自国の経済を自ら発展させていく環境づくりを支援したい。」 ■森博之さん(ウルグアイ/気象)：「配属先で開発を開始した長期予報を順調に運用できるように手伝いたい。」

皆さん、2年間、くれぐれもお体に気を付けて、元気に活動してください!

宮城より皆さんのご活躍をお祈りしています!



若生副知事より「みやぎ海外大使」に任命されました。



若生副知事(中央)と今回出発したJICAボランティア



東北大学国際祭りの新機軸～白石市国際交流協会と松島町国際交流協会が出演しました～

巻頭インタビューでもご紹介しましたが、今年から東北大学国際祭りは梅雨入り前の5月下旬に東北大学川内萩ホール前で実施することとなりました。会場規模も拡大となり、また主催団体である東北大学留学生協会(TUFSA)が地域とのつながりを持てる場としたいという意向もあり、当協会を通じて県内の市町村国際交流協会に国際祭りへの参加を促したところ、今年は白石市国際交流協会と松島町国際交流協会の2団体にご参加いただきました。

それぞれ市町の観光PRをしたり、日本の伝統文化の体験ブースを設けたりして、留学生やその家族との交流を深めました。



松島町のゆるキャラ「どんぐり松ちゃん」子どもに大人気



片倉小十郎との記念撮影も大盛況でした



松島町国際交流協会、副会長自らによる昔の遊び体験コーナー



白石市の書道グループによる書道体験コーナー

日韓国交正常化50周年を心に刻むミュージカル「ジュリアおたあ」宮城公演、感動の内に終了

日本と韓国が1965年6月22日に国交樹立のための基本条約に調印してから今年で50年。この節目の年を記念し、在日本大韓民国民団宮城県地方本部・宮城県日韓親善協会・公益財団法人 未来の東北博覧会記念国際交流基金が中心となり実行委員会(実行委員長 田炳樽氏)を立ち上げ、日韓交流の新たな半世紀を多くの県民の皆様と歩み出すことを目的にわらび座ミュージカル「ジュリアおたあ」宮城公演を実施しました。

まさに調印から50年目の6月22日、会場となった仙台市民会館大ホールには、県内各地から約800名もの県民の皆様がご来場くださいました。

ミュージカルに先立ち、第一部では昨年「第61回国際理解・国際交流のための高校生主張コンクール」で栄えある日本国際連合会長賞を受賞された吉川優姫さん(現 仙台白百合女子大学1年)の受賞弁論「もしも私が国連事務総長なら、国連で何をすべきか」の再演も行われたのですが、日韓交流の次代を担う若者の力強い言葉に会場からは惜しみない拍手が贈られました。

第二部のミュージカル「ジュリアおたあ」は、日韓間の歴史に翻弄されながらも、ひと粒の種のようにひたむきに生きることを誓った女性「おたあ」の生涯を感動的に綴ったものです。主演の椿千代さんの、絶望と希望を見事に演じきる姿は、観る人すべての心に人間の尊厳と平和の尊さを刻んだことでしょう。

舞台芸術を通して多くの県民の皆様とともに日韓間の厳しい歴史を辿ることで、改めて新しい時代の幕開けを念じる記念事業となりました。



花束の贈呈を受けた吉川優姫さん



ミュージカル「ジュリアおたあ」キャストの皆さん

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『「使える」日本語を学ぶ!～行動・体験型の教室活動をつくろう～』

発行:公益財団法人 愛知県国際交流協会

地域日本語教室向けに作成された、教室活動の事例集です。「教室活動」にはいろいろな種類がありますが、本書で紹介しているのは「行動・体験型」のもの。つまり、日常生活の場面や課題をテーマとして取り上げ、教室の中あるいは外で、実際にその場面や課題を体験し、そしてその体験を振り返って内容をまとめたり発表したり、というプロセスを通して「使える」言葉を学んでいく教室活動です。「図書館を利用しよう」「火事になったら」「地震に備える」といった9つの実際的なテーマについて、どんな目標を設定し、どのような準備をして、実際にどう活動を行ったのか、といった一連の流れが丁寧に紹介されています。知識としての言葉ではなく、生きた言葉を学ぶとはどういうことなのか、について考えるきっかけを与えてくれる1冊と言えるでしょう。MIAのライブラリーで貸し出しているほか、発行元の愛知県国際交流協会のウェブサイトからダウンロードすることも出来ます。 <http://www2.aia.pref.aichi.jp/resource/j/2News/manual.html>



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人の輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。

●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)

◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。

所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部MIA vol.80

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914

仙台市青葉区堤通南宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL <http://mia-miyagi.jp/>